

派遣先 インドネシア・バンドン工科大学 (ITB)
派遣期間 2014年9月8日(月)～9月21日(日)
実習高校 SMA N 22 Bandung, SMA Taruna Bakti
滞在先 Hotel Bumi Sawunggaling (ITBまで徒歩10分)
引率教員 大寫竜午

9月8日(月)

ジャカルタスカルノハッタ国際空港に到着し、携帯のSIMカードを購入。ITBの学生が大学バスで迎えに来てくれ、宿へ向かう。17:30 空港出発、途中サービスエリアで夕食を食べ、23時に宿(ホテル)に到着。宿は、エアコン、Wifi有り(部屋では弱い)、温水あり湯船あり。イボーン先生の交渉のおかげで、かなり値引いてもらった。ITBの学生は、日本人のお腹が弱いことを熟知しており、夕食選び等を慎重に行ってくれた。空港での両替レートが悪いということで、イボーン先生は、予め初日分のルピアを学生分用意してくださった。



学生の宿舎

9月9日(火)

09:00 ITBの学生が宿に迎えに来てくれ、徒歩で大学へ。

10:00-12:00

バンバン先生、イボーン先生、ITB学生、そして授業をさせていただく高校の先生2名を交えて、オープニング・ミーティングを開催。学生の授業計画にコメントをいただいた。

12:00-13:00 昼食(お弁当を用意していただく)。

13:00-14:30 両替

14:30-15:30 キャンパスツアー

[教員コメント]

学生のプレゼンは落ち着いて良いものであった。オープニング・ミーティングで英語にて自己紹介、授業紹介をしたことは、授業実践にとってよいプレゼンテーションの練習になったと思う。ITBの多くの学生が我々を訪ねてくれ、交流することができた。彼らは日本人学生の食事のことや生活のことなど、様々なことを気にかけてくれ、サポートをしてくれた。



オープニング・ミーティングでの自己・授業紹介

9月10(水)

08:00 ホテル集合。

09:00 ホテル出発（イボーン先生の車とバンバン先生の学生の車2台、ITBの学生の運転で出発。車が遅れ出発が1時間遅れる。）

09:30 SMA N 22 Bandung で打ち合わせ，見学。

11:30 SMA Taruna Bakti で打ち合わせ，見学。

14:00 昼食

16:00 解散

[教員コメント]

学生は自らのユニットに必要な機器や生徒や教室の情報などを学校の先生方に自ら質問・お願いし、準備を進めていた。高校生は、非常にフレンドリーであり、学生は少しリラックスできたかもしれない。

ITBの学生がすべてを面倒見てくれて、非常に助かる。日本人学生は静かな学生が多く、リーダーシップはあまりとれていないようであるが、ITBの学生との交流を楽しんでいる。ITBの学生は、千葉大学学生の体調を考慮し、できるだけ衛生面で安全性の高いレストランに連れて行ってってくれるため、ITBの学生の金銭的な負担が気になる。



高校を訪問し、生徒・教員に挨拶



高校生と談笑・授業準備

9月11日(木)

08:00 ホテル集合・出発(車が一台遅れたため、タクシー2台と車1台で向かう)

09:00 SMA N 22 Bandung 到着, 校長先生に挨拶, 授業準備。

10:00 授業開始(高校2年生, 理系クラス)

11:30 授業終了

12:00 昼食(お弁当を準備していただく)

13:00 ホテルへ向け出発

14:00 ホテルにて授業反省・改善

16:00 解散

[教員コメント]

[文書のタイトルを入力]

一名は、前日に辛いものを食べてしまい、腹痛を起こしたが、授業実践に参加することができて良かった。生徒の立場に立った授業にはまだなっておらず、教え込みの要素が一部のパートで強く出てしまった。それでも生徒は、学生のプレゼンに興味を持ってきているようでありよかった。学生は、授業が終わり、疲れがどっと出たようであったが、よりよい授業を実践したいという思いから、ホテルに戻ってから、授業改善に取り組んだ。このような積極的な姿勢に感心する。



実習風景



実習風景と授業後の集合写真

9月12日（金）

08:00 ホテル集合・出発

09:00 SMA N 22 Bandung 到着，授業準備。

10:00 授業開始（高校1年生，理系クラス）

11:30 授業終了

12:00 金曜礼拝が終わるまで学校にて休憩

13:00 昼食（お弁当を用意していただく）

14:00 ホテルへ向け出発

15:00 解散

[教員コメント]

二回目の授業という安心感もあってか、あるいは昨日の授業改善が良かったのか、学生には授業しながら笑顔を見せる余裕が見られた。授業は昨日よりも良くなってはいるものの、まだ改善の余地はある。授業後の時間には、ITBの学生とともに、自発的に授業改善のための話をしていたのが印象的であった。課題が明確になったようで、いいステップを踏んで第二週を迎えそうである。



実習風景



実習風景



実習風景と授業後の集合写真

9月13日（土）エクサカーション

9月14日（日）エクサカーション

9月15日（月）授業準備，ITB 学生とのエクサカーション

9月16日（火）

09:00 ホテル集合，アンコットで SMA Taruna Bakti へ移動。

09:30 学校到着，授業準備

10:00 授業開始（高校2年生）

11:30 授業終了，生徒との交流

12:00 授業反省会

12:30 昼食（学校にお弁当を用意していただく）

13:00 学校からホテルへ出発

13:30 授業反省会・授業改善話し合い

15:00 解散

[教員コメント]

授業は先週の2回よりもさらに改善されており，学生も達成感を感じ始めているようであった。SMA Taruna Bakti は，私立の小・中・高一貫の私立学校で，生徒の様子としては，先週の公立の生徒に比べて，理解力は高い反面，リアクションは少し薄めであった。学生等もそれを感じていたようであるが，生徒の様子からは，授業それ自体を十分に楽しんでいるようであった。

授業反省会及び授業改善話し合いでは，翌日の最後の授業で悔いが残らぬように，みな真剣に話し合いを行っていた。

9月17日（水）

09:00 ホテル集合，アンコットで SMA Taruna Bakti へ移動。

09:30 学校到着，授業準備

10:00 授業開始（高校1年生）

11:30 授業終了，生徒との交流

12:00 授業反省会

12:30 昼食（学校にお弁当を用意していただく）

13:00 学校からホテルへ出発

13:30 授業反省会・授業改善

14:00 解散

16:30-17:30

ITTBにてスンダ文化の紹介・交流

[教員コメント]

授業最終日ということで，学生は少し緊張した面持ちで，授業準備を行っていた。授業に向かうこのような真剣な姿勢が，彼ら自身を2週間足らずで成長させてきたのだと思われる。授業では，前日改善に取り組んだ部分が，見事に表現されており，4回の授業の中で最も良いものであった。

また，授業内容の良さを求めるだけでは無く，授業における個人個人のプレゼン能力の課題を明確にし，それを克服するよう予め指示していた。例えば，ある学生は一人一人の顔を見ながら英語で話しかけるように伝えることを課題としており，別の学生は緊張した際に笑顔では無く変な笑いをしてしまうことがあり，それを抑えて堂々と話をするを課題としていた。学生は，授業中にそれぞれの課題にも注意してプレゼンする様子が伺え，彼らの学習能力の高さを示してくれたこともまた，評価されるべきである。

9月18日（木）

ファイナルプレゼンテーション準備

9月19日（金）

08:00 ホテル集合，学生だけでアンコットで ITB へ移動。

09:00 大学到着，プレゼン準備

09:30 ファイナルプレゼンテーション開始

12:00 一時解散

16:00 ITB 学生とともにインドネシアコーヒーのショップへ（お土産購入）

19:00 スンダのレストランでお別れパーティ

21:00 解散

[文書のタイトルを入力]

[教員コメント]

この時期は卒業シーズンなのであるが、今年は、ITBのバンバン先生、イボーン先生ともに特に忙しいようであったが、卒業発表の合間を縫って、ファイナルプレゼンテーションに顔を出していただき、コメントもして下さった。ITBでは、卒業、修論の口頭試問が1時間半ということである。ちなみに、バンバン先生の今年の卒業生は、16人とのことで、その多忙さは計り知れない。

学生は、授業のねらいと改善点、そしてこの2週間から学んだことを中心にプレゼンを行った。ITBの学生は、千葉大学の学生のために様々な文化交流プログラム等を企画してくれたため、プレゼンを準備する時間は十分に確保されてはいなかったが、分かりやすいパワーポイントを作成していただいただけではなか卯、少したどたどしいながらも、台本を読むのでは無く、自分の言葉で堂々と表現していた点には感動さえした。また、オーディエンスから質問された際には、2週間前には自分から発言したり行動したりする学生等では無かったが、一人が回答すると、「私も考えがある」というように、積極的に英語にて発言するようになっており、彼らの成長には驚いた。

お別れパーティでは、ITBの学生とともにバンバン先生、イボーン先生も来て下さった。お二人の人格が学生を安心させたのは間違いない。イボーン先生とプログラムについて色々と話し合った。

9月20日（土）

12:00 ホテル集合，昼食。

13:00 ITBのバスでジャカルタの空港へ移動。ITBの学生が引率してくれる。

17:00 空港到着，帰国

[教員コメント]

学生の2週間の間での成長には目を見張るものがあった。最初は、おとなしく、あまり積極性も無く心配していたが、真のしっかりした学生等で、自らの目標を一つ一つこなし、成長していた。

ITBの学生は、毎日の活動に付き添ってくれ、千葉大学の学生をサポートしてくれた。彼らと常に一緒にいることで、学生等は深い交流ができたと感じる。かなり熱心に世話を焼いてくれたため、ITBの学生に感謝したところ、彼らが千葉大学に滞在している間に、「千葉大学の学生が、学生宿舎に食材を持ち込んでお好み焼きを焼いてくれたり、いつもお世話をしてくれた。自分たちがするのも当然」という返答が帰ってきて、千葉大学の学生のことを誇らしげに思った。これからも彼らの交流が続くことを願っている。